

氏名	山崎浩子
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博乙第3547号
学位授与の日付	平成13年3月25日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Plasma adrenomedullin levels in patients on hemodialysis (血液透析患者における血漿アドrenomedullin濃度の検討)
論文審査委員	教授 公文 裕巳 教授 大江 透 教授 平川 方久

学位論文内容の要旨

adrenomedullin(AM)は、最近発見された降圧作用を有するペプチドである。我々は、血液透析(HD)患者54名における血漿AM濃度と臨床的意義について、更にhigh-flux及びlow-flux膜の影響に関して検討した。HD患者のHD前AM濃度(4.44 ± 0.16 fmol/ml)は対象健常人に比して有意に高く、また年齢およびHD前平均血圧(MBP)とそれぞれ負相関を示した。HD後AM濃度は透析後MBPと負相関、AM除去率と正相関を示した。重回帰分析にてHD前AM濃度はHD前MBP、年齢により説明され、HD後AM濃度はHD後MBP、AM除去率により説明された。また、high-flux膜によるHDの方が、low-flux膜によるHDよりもAMは有意に除去された。high-flux膜による無除水透析を施行した3名においての検討より、MBPや心房性ナトリウムペプチドの変化なくAMの有意な低下がみられた。以上より、HD患者でのAM濃度の上昇は血圧の低下に寄与しており、したがって、HD患者においてhigh-flux膜によるAMの除去はHD中の血圧の安定化に寄与していると考えられた。

論文審査結果の要旨

本研究は、血液透析(HD)患者におけるAdrenomedullinの血漿濃度の上昇が血圧低下に寄与していること、ならびに、High-flux膜によりAdrenomedullinの除去が可能であることを明らかにした。その結果は、HD患者においてHigh-flux膜によるAdrenomedullinの除去がHD中の血圧の安定化に関与する可能性意味するものであり、価値ある業績であると認める。

よって、本研究は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。